

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師学科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	薬理学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生	学期及び曜時限	後期	教室名	1校舎 801 802
担 当 教 員	山下剛永	実務経験と その関連資格			

《授業科目における学習内容》

薬理学は生体との相互作用の結果、おこる現象を究明する科学です。薬理学総論を学習し、全般を理解します。そして薬物作用と薬物動態の両面から学習します。特に薬物作用機序を中心に学び、治療効果に限らず、その延長上におこる有害作用の機序、複雑な薬物の働きに対し、副作用の予知、発見などの一助になることを期待します。

《成績評価の方法と基準》

本試験 100点

《使用教材(教科書)及び参考図書》

主に配布資料を中心に講義します。
薬理学・疾病のなりたちと回復の促進(医学書院)
わかりやすい薬理学(ヌーベルヒロカワ)

《授業外における学習方法》

授業の機会を通じ、薬理学に関連する書物を読んでみましょう。

《履修に当たっての留意点》

(1)薬を用いて病気を治療することとはどういうことなのか (2)治療に求められる基本的性質はどのようなものなのか
(3)「病を癒す」ことは、薬物の効果にだけゆだねられているのだろうか、理解してみよう。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回 講義形式	授業を通じての到達目標	薬による病気の治療について理解できるようになる。	配布資料	資料から、薬による病気の治療、薬としての基本的な性質を理解しましょう
	各コマにおける授業予定	薬理学とはなにか 薬としての基本的性質 薬による病気の治療 薬物療法の目的 副作用と有害作用について		
第2回 講義形式	授業を通じての到達目標	薬による病気の治療について理解できるようになる。	配布資料	資料から、薬による病気の治療、薬としての基本的な性質を理解しましょう
	各コマにおける授業予定	薬理学とはなにか 薬としての基本的性質 薬による病気の治療 薬物療法の目的 副作用と有害作用について		
第3回 講義形式	授業を通じての到達目標	薬はどのように作用するのか理解できるようになる。	配布資料	薬の投与経路から、それぞれのどのような問題点があるのか学びましょう
	各コマにおける授業予定	薬はどのように作用するのか 薬理作用の基本形式 薬の治療域と作用点 薬の投与経路(経口・注射・吸入・点滴・外用等)		
第4回 講義形式	授業を通じての到達目標	薬はどのように作用するのか理解できるようになる。	配布資料	薬の投与経路から、それぞれのどのような問題点があるのか学びましょう
	各コマにおける授業予定	薬はどのように作用するのか 薬理作用の基本形式 薬の治療域と作用点 薬の投与経路(経口・注射・吸入・点滴・外用等)		
第5回 講義形式	授業を通じての到達目標	薬はどのようにして体内をめぐるのか理解できるようになる。	配布資料	薬はどのように体内をめぐるのか、この項で臨床検査技師は、薬物血中濃度モニタリングのための、薬物血中濃度測定を担当します。
	各コマにおける授業予定	消化管粘膜からの吸収 肝臓での代謝 薬物の代謝 腎臓から尿中への排泄 薬物の血中濃度と薬物血中濃度モニタリング		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	薬はどのようにして体内をめぐるのか理解できるようになる。	配布資料	薬はどのように体内をめぐるのか、この項で臨床検査技師は、薬物血中濃度モニタリングのための、薬物血中濃度測定を担当します。
		各コマにおける授業予定	消化管粘膜からの吸収 肝臓での代謝 薬物の代謝 腎臓から尿中への排泄 薬物の血中濃度と薬物血中濃度モニタリング		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	薬効に影響する因子について理解できるようになる。	配布資料	薬物アレルギー原因と対策、薬物依存、副作用について資料を読みましょう
		各コマにおける授業予定	薬物アレルギーの原因と対策 反復投与による薬効の影響 薬物依存 薬物の有害作用はなぜ起こるのか 治療薬の副作用について		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	薬効に影響する因子について理解できるようになる。	配布資料	薬物アレルギー原因と対策、薬物依存、副作用について資料を読みましょう
		各コマにおける授業予定	薬物アレルギーの原因と対策 反復投与による薬効の影響 薬物依存 薬物の有害作用はなぜ起こるのか 治療薬の副作用について		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	薬の管理と新薬の誕生 新薬の開発 医薬品の添付文書について理解できるようになる。	配布資料	新薬の開発とジェネリック医薬品、最近よく使われる略語その意味と要点等の資料をよく読みましょう。
		各コマにおける授業予定	管理に注意をする医薬品 新薬の開発 ジェネリック医薬品 処方箋医薬品 医薬品の添付文書と処方箋 最近よく使われる略語その意味と要点		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	薬の管理と新薬の誕生 新薬の開発 医薬品の添付文書に理解できるようになる。	配布資料	新薬の開発とジェネリック医薬品、最近よく使われる略語その意味と要点等の資料をよく読みましょう。
		各コマにおける授業予定	管理に注意をする医薬品 新薬の開発 ジェネリック医薬品 処方箋医薬品 医薬品の添付文書と処方箋 最近よく使われる略語その意味と要点		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			